59年全国労働組合生 | 関係等について各労働 | や、少子高齢社会をは | がる諸活動に積極的に | ある「労働組合実践活 織・系列を超えて19|する生産性問題、労使|を増すグローバル競争|経済の活性化へとつな|ワークを構築する場で

ネットワーク

|その組織化を図ろうと|ています。

する動きの中から、組| 産業の近代化に即応|会は、ますます厳しさ|大限活用し、中部地域|・業種を超えたネット

現在の日本の経済社 | た組合組織の特徴を最 | 表を伺いながら、産別

るいは現場感覚といっ | の各労働組合活動の発

全国の組合にひろめ、一今日まで活動を推進し一す。

産性企画実践委員会 | 組合の活動が正当かつ | じめとする大きな環境 | 取り組む必要がありま | 動研究部会 | などを中 、現在の全国労働組合 | 有効に展開されるよう | 変化に直面しており、 | す。

す。中部労生はこうし |議を通じて中部労生の | に的確に対応できるよ

0年中部地域の労働組
そうした活動を評価 | た状況下だからこそ、 | 活動を幅広く認識いた | う新たな視点を加えつ

産性会議(中部労生) | 969年発展的に現在

中部地方労働組合生産 | 生産性会議・公益財団 | に調査、研究交流など | 構造変革を強く求めら | 在の組合活動の特徴的 大久保 章 内)が生まれ、196 た。 |法人日本生産性本部|に取り組んで参りまし|れる転換期にありま|な取り組み、課題の討

中部地方労組生産性会議の活動紹介地区の主要労働組

その中で、中部 | 好評をいただいており 心に取り組んでおり、

こうした中、中部労

|生としましては、変革

一が強く求められる環境

中部地方労働組合生|合もこれに呼応し、1|いただき、現在231|活動の原点である「人|だく場である「労組生|つ、職場目線に立った、

|組織(2015年8月|間尊重の精神」に立ち、|産性大会」 や、組合活 |地に足をつけた活動を

は、労働組合自身の手 | の名称に変更し、中部 | 31日現在)まで会員数 | 生産性運動の担い手と | 動の原点である職場を | さらに発展させて参り によって生産性運動を | 生産性本部と連携して | は拡大してきておりま | して、働く者の目線あ | 実際に訪問し、そこで | ます。